

お助け! 別所案内

いすゞ車の整備と
改造公認車検に強い

別所自動車

〒336-0038 埼玉県さいたま市南区関1-6-8
☎048-861-5378 FAX048-866-6522
http://www.bessyo-jidosya.com/
☎8:30~17:30
(整備が可能な時間 受け渡しは相談可能)
☎日、祝日

別所自動車は、一見普通の整備工場である。乗用だけでなくトラックやライトバンの整備もするし、民間車検場でもある。ただしこれはあくまで表向きであって、マニアの間では旧車、中でもいすゞが得意ということで頼られる存在だ。創業は1956年というから古い。先代社長の荻野義光さん(昨年74歳で他界)が整備の仕事をはじめたのは20歳の頃。その後、たまたま廃業する工場をそのまま譲り受けて開業したのが、別所自動車である。

当時は、トラックの多い時代。義光さんがポイント調整をするの出足が違っていると評判で、街道沿いに整備待ちのトラックを並べ、警察に怒られたこともあった。現在は、トラックの多い時代。義光さんがポイント調整をするの出足が違っていると評判で、街道沿いに整備待ちのトラックを並べ、警察に怒られたこともあった。現在は、トラックの多い時代。義光さんがポイント調整をするの出足が違っていると評判で、街道沿いに整備待ちのトラックを並べ、警察に怒られたこともあった。



●現在の場所へ移転してきたばかりの頃の別所自動車。まわりは田んぼ以外何もなかった。



●工場内はダンプが入ることもあるので天井が高い。

●最近公認を通した四駆ファージ。ディーゼルのためNOx・PM法で乗れなくなるからと、ピアツターボのガソリンエンジンに積み替えた。マフラーもピアツター用を加工して装着。必要な要素をまるごと移植すれば排ガス検査は省略できる。あとはリヤのプロペラシャフトの強度計算程度(フロントは高速域では使用しないので計算不要)。



●これは聡さんが製作中のジェミニ。もともとスラントノーズのZZを、逆スラント仕様になっている。意外と加工が多くて大変とのこと。

の中浦和駅の西口から100mの別所自動車。ちょっと前までいすゞが主だったが、老朽化したことと今はいすゞ車より他メーカー車の整備が外したという。



換装で忘れがちなキャップ。ディ異なり、ガソリン式が原則。このと陸事である。



の奥にあったデッドストックのパーツ群。いる人がいるうちに売ってあげた方が喜ばうからと、近々整頓するそうだ。中にはエルホイールシリンダーなんてものもあった。

ZZ/Rと、奥のZZ/L(10カ月くらいしてない希少車)はともに2人の弟さん。左のルノー・ドーフィンはお客さんのクーターポンプ待ち。



●スタッフのみなさん。写真にはいないが事務の方を含めると10名。いちばん右が社長の荻野聡さん。後ろの117クーペは工場長の國母さん(右から2番目)の愛車、初期のハンドメイド。



「最低限の技術ノウハウがないとできないことだけど、そんな高度なことだとも思ってません。民間車検場だから合法以外はできないです。それに法律に適合させていく工程が楽しいし、堂々と公道を乗れるから気持ちいい。違法改造してあると方が一のときに自動車保険も出ないですから」

いすゞ車に限らず、旧車の整備や車検さらには保険まで、困ったことがあつたら相談してみるといいだろう。(音)

アスカのナビ5仕様車があったりする。現在は義光さんの希望で別所自動車に戻り、これで別所自動車がこれまで蓄積してきた技術に、聡さんが本社勤務で得た経験がプラスされたわけだ。

いすゞは乗用車部門の撤退で、パーツの入手が難しいという印象があるが、日本中探しても出ないものが、別所自動車だと出ることがあるらしい。また、部品が出ないからといってお終いというのではなく、ないものは自作したり、物によっては加工屋さんで作ってもらったりもする。別所自動車に持っていきければなんとかなると、遠くから来るお客さんもいるという。

改造公認も得意。そもそもトラックの改装は公認申請が当たり前だし、聡さんは学生時代からラリーをやっているのは規制緩和前からスプリングやロールバーの公認は欠かせなかった。

「最低限の技術ノウハウがないとできないことだけど、そんな高度なことだとも思ってません。民間車検場だから合法以外はできないです。それに法律に適合させていく工程が楽しいし、堂々と公道を乗れるから気持ちいい。違法改造してあると方が一のときに自動車保険も出ないですから」